



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 8 月援農時間 2,301 時間（昨年同月 2,412 時間、111 時間減）、
受入農家 22 軒（昨年同月 22 軒）、参加会員 68 名（昨年同月 66 名）、
1 月からの累計援農時間 13,614 時間（昨年同月 12,984 時間、630 時間増）

8 月中旬に雨が続いたせいか昨年よりは少ないものの、8 月の援農時間が
2,000 時間を超えました。暑さの中、また雨模様の中、頑張って頂いた
各メンバーのみなさま、大変ご苦労様でした。今はキャベツ、ブロッコリー
等の植え付けや人参、ネギの草取り。準備の早かった畑では、里芋の収穫
作業も始まりそうです。朝夕と日中、晴れ雨等の天候違いによる温度差に
気を付けながら、またコロナにも油断することなく、引き続き頑張ってまいりましょう。



7 月～8 月上旬の桑の葉収穫は、谷津農園、松本農園、村内農園の合計援農時間は、
600 時間弱、後者 2 農園の収穫量は 2,000 kg 弱、となりました。

中学校の 2 学期の開始にあわせ、「はちっこキッチン元横山(元横山給食センター)」が
オープンしました。昨年 9 月にオープンした南大沢、元八王子給食センターに続き、
市内 3 番目です。第一中など 5 つの中学校に約 2,500 食の給食を供給しております。
各給食センターは、材料の 3 割を八王子産でまかなうことを目標としており、我々が
援農を行っている農家さんの野菜が、子供達の健康の増進に寄与しております。(北尾)

理事会報告 9 月度理事会 (9/16(木) 17:40～20:00 大横保健福祉センターにて。
7 人出席)

- ・ブルーベリー収穫で一部の人にきわめて長時間の援農があった。来年は早めに対策を
たて、長時間援農を減らすこととする。
- ・今年 6 月に開設した久保山農園は、34 区画のうち 25 区画が埋まり、
目標を達成した。
- ・NPO ワーカーズコープから相談を受け、引きこもりの人の社会復帰の
ための活動として、市民農園をお勧めしたところ、久保山農園を 2 区画
契約していただいた。
- ・就労継続支援 A 型事業所『風の谷』の援農体験報告と意見交換。継続審議。
- ・農園利用への問い合わせが多数あることにより、栗の木農園に隣接している遊休農地
(554㎡) を 8 番目の農園とすることに決定した。
- ・令和 4 年 1 月より農家の謝礼金を改定していただくにあたり、11 月中に各農家さん
を訪問し、お願いすることとした。



お知らせ ① 安田生命保険相互会社高尾営業所 と 八王子市民活動協議会協働の
「私の地元応援募金」に応募し、5 万円の補助金をいただきました。

久保山農園開設費用の一部に充当しました。

- ② ある農家会員さんから耕耘機、キャタピラー付き運搬機、里芋洗い機の提供のお申し
出がありました。耕耘機と運搬機のサイズは 60 cm×150 cm です。ご希望の方は、
若林(yucatan@vanilla.ocn.ne.jp、080-2022-1304)まで。



耕耘機



キャタピラー付き運搬機



里芋洗い機

Tシャツデザイン画 100 選受賞

八王子ファッション都市協議会（事務局：八王子商工会議所内）主催の

第19回「Tシャツデザイン画 100 選」デジタルデザイン部門賞に、すすしろ22法人会員の創輝株式会社代表飛田正文様の作品が入賞しました。創輝株式会社の社員皆さんで考えたそうで、図はマルベリーブリッジと桑の葉を表しています。1,532点という多数の応募から11点選ばれた中の1つです。おめでとうございます。創輝株式会社は、桑の葉茶の製造・販売をしています。



入賞したデザイン画

援農体験記

『ありがとうございました』で疲れが吹き飛びます

北野台 森下 久美子

昨年位から農作物を育ててみたいという気持ちにかられ、近くに畑活ができる場所があると聞き、とりあえず始めてみることに。まるで接待農業のようで道具も借りられ、種も苗も用意してくれて育て方、収穫の仕方などなど、とても丁寧に教えてくれる。農業初心者にとってはありがたい限り。それでも自分で育てた感は味わえて、収穫した野菜のおいしさには大感動！

今年は、もう少し違った形で関われないかと探していると“すすしろ22”にたどり着くことに。ということで春から参加させて頂いています。（宜しく
お願いします）農業は“大変！”と聞いていたので、はたして務まるのかと



不安だらけ。まずは草取りのやり方から教わり、その草取りで腰が悲鳴をあげる😓。後日には、はさみを使い続けて指が悲鳴をあげ、別日には座り続けて股関節が悲鳴をあげ、夏は暑さでフラフラになる😓、😓。確かに農家さんは大変だ！！毎日の事ですし。そして援農を続けている

“すすしろ22”のメンバーさんのパワフルさにも脱帽です（敬礼）

援農をさせて頂き、こんなに手間をかけて野菜を作ってくれて

いることに感謝。食する時には今まで以上に有難く頂くようになりました。

そして、お手伝いになっているのかどうか…の私に「助かりました。ありがとうございました」と毎回声をかけて頂き、その時は一瞬で疲れが吹き飛びます。そのうえ、おみやげに野菜まで頂き、嬉しい限りです。また、休憩時には、農作業のあれこれを教えてもらい知らないことだらけなので、「へ～！そうなんですね～！」と新鮮な驚きの連続です。勉強になります。



それにしても、農業に携わっている方は“すすしろ22”のメンバーさんも含め優しい人ばかり。肉体労働だけあって体の作りも違う気がします（たくましい！）。

（これまでの主な援農実績 尾崎農園さん、桑の葉収穫、ブルーベリー収穫体験）今後、体が慣れて体力がつく事を祈りつつ、無理をせず続けていけたらいいなと思います。どこかでお会いしましたらお声かけ下さい。



野草あれこれ

ツルボ ユリ科ツルボ属

するぼ・さんだいがさ、とも呼ばれる。参内傘はその花穂の様子がむかし公卿が参内するとき、お供の者が差しかける長柄傘のたたんだ形に似ていることから付いた。つるぼの意味は不明。多年草。鱗茎は長さ2～3cmのたまご形。春に咲く葉は夏には枯れて、晩夏に2枚の向き合った葉を出し、その間に20～30cmの花穂が立ち上がる。下から上へと花が開き、一つひとつの花は小さいながらも花弁6枚、雄しべ6本、めしべ1本のユリ科の特徴を持つ。北海道から九州まで、中国から台湾まで分布。初秋に、畑のへりや芝生の中など日当たりの良いところに淡赤紫の花穂が群れて立ち、かれんな美しさを見せてくれる。

